

3月13日の基準価額の下落について

2020年3月13日に基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドについてお知らせいたします。

【該当ファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	前営業日比騰落率
パインブリッジ・ワールド株式・オープン	4,975円	-614円	-10.99%
パインブリッジ米国優先REITファンド 2016-03 (為替ヘッジあり) / 単位型投信 (愛称: マンハッタン3 (為替ヘッジあり))	8,430円	-915円	-9.79%
パインブリッジ米国REITインカムファンド Bコース (愛称: バイリンガル)	7,094円	-664円	-8.56%
パインブリッジ米国REITインカムファンド Aコース (愛称: バイリンガル)	8,361円	-776円	-8.49%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド (愛称: 未来インフラ)	11,027円	-860円	-7.23%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド (3ヵ月決算型) (愛称: 未来インフラ (3ヵ月決算型))	8,538円	-665円	-7.23%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド<為替ヘッジあり> (愛称: 未来インフラ<為替ヘッジあり>)	9,035円	-688円	-7.08%
りそなジャパンCSRファンド (愛称: 誠実の杜)	7,462円	-420円	-5.33%
パインブリッジ日本株オープン (愛称: ビューティフルジャパン)	7,198円	-392円	-5.16%

【市場動向】

	3月11日	3月12日	11日から12日の騰落率
MSCI米国REIT指数	1,094.90	980.79	-10.42%
S&P500種株価指数	2,741.38	2,480.64	-9.51%
ダウ工業株30種平均	23,553.22	21,200.62	-9.99%
MSCIワールド指数	1,972.05	1,776.53	-9.92%

	3月12日	3月13日	12日から13日の騰落率
日経平均株価	18,559.63	17,431.05	-6.08%
TOPIX(東証株価指数)	1,327.88	1,261.70	-4.98%
円/米ドル	104.60	105.17	+0.54%

■当資料は、「3月13日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



<下落の背景について>

国内株式市場

足下の株価下落は、新型コロナウイルスの欧米諸国での感染者急増が明らかになる中、3月11日に行った米トランプ大統領の演説内容が期待外れだったことから、米国景気ひいてはグローバル景気減速への懸念が高まったことがきっかけになったものと思われます。同演説に盛り込まれた施策のうち、所得減税について具体策が出てこなかったこと、そして同演説に財政拡張政策や国際協調に基づく政策が盛り込まれなかったことが市場期待との大きな差であったと思われます。また、同演説に、3月13日以降欧州から米国への渡航を30日間停止したことが盛り込まれていたことも、株式市場が景気減速懸念を高めたものと思われます。

株価調整に伴い株価指標面に割安感も生じてきていますが、新型コロナウイルスの拡散の状況に不透明感が残るなか、大幅な金融緩和策導入や財政の投入、または企業業績の底堅さが確認されるまでは不安定な動きが続くものとみられます。企業の資本効率改善意識の高まりや利益成長のための投資、株主還元に対する前向きな姿勢等、コーポレートガバナンス強化の流れが株価の下支えとなることに期待します。

外国証券市場

12日の米国市場は、主要株指数はブラックマンデー以来の記録的な急落となりました。アジア時間中にトランプ大統領が欧州から米国への期間限定の渡航制限（ツイッターで人のみ対象と訂正）を発表、世界経済の停滞を加速させるとの懸念から、アジアや欧州の株式市場が急落し、その流れを引き継ぎました。また米国国内感染者数の増加に対してトランプ大統領の後手後手の対応への不安視も下落を増幅させていたとも言われています。S&P500種株価指数は昨日の急落により2018年末以降の上昇分がほぼ帳消しとなりました。また原油なども軟調推移となり、連動し易いハイイールド債などのスプレッドが一段と拡大した他、安全資産として値上がりしてきた金や米国債が換金目的と目される売りから下落しました。その結果、週前半の急落局面では利回りの急低下を伴いましたが、米国債利回りはやや上昇し、また米ドルが資金手当てなどを背景に強含みで推移した結果、円高の進展も一服しました。連日のように急落する市場に対して主要各国中央銀行や政府の協調路線がより明確になってきましたが、新型コロナウイルスに向けた直接的な抑止力とはならないだけに、感染者数の増加報道に連れてしばらくはこうした乱高下する地合いが続くものと思われますので、引き続き市場動向に細心の注意を払って参ります。

■当資料は、「3月13日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



重要な注意事項：投資信託に関する留意点

お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する個々の費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面をご覧ください、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

【お申込みに際しての留意事項】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様の投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面を必ずご覧ください。

【ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます】

●投資信託に係る費用について

申込時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料（申込手数料） 上限3.85%（税抜3.5%）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限 0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年1.98%（税抜1.8%）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

■当資料は、「3月13日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

